

Ⅲ. 教育課程表・学科の教育目標・専門科目の学び方

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語総合			現代社会		数学Ⅰ			化学基礎		体育		保健		美術Ⅰ		C英語Ⅰ			工業技術基礎		建築構造設計		情報技術基礎		建築構造		建築計画		L H R

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
2年	国語総合			地理A		数学Ⅱ		物理基礎		体育		保健		C英語Ⅱ		家庭基礎		建築実習			建築製図		建築構造		建築構造設計		建築施工		建築計画		L H R

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
3年	現代文A		世界史A		数学Ⅱ		生物基礎		体育			C英語Ⅱ		家庭基礎		課題研究			建築実習		建築製図			建築施工		建築法規		数学B 英語表現Ⅰ インテリア 装飾 企業実習		L H R

教育目標

建築に関する基礎・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における建築の意義や役割を理解させるとともに、建築技術や環境問題など就業体験を通じて、主体的に判断し解決する態度を育て、社会で実践できる工業人を育成する

【建築科とは?・・・】
人間の生活にとって欠かすことのできないものに衣食住があげられます。本校の建築科は、使いやすく住みたくなるような、美しく、長い年月の使用に耐える丈夫な建築物について勉強します。また、優れた建築技術者としての資質を育むために、ものをつくることの喜びや、自分で考え、問題を解決し、最後までしっかりやり遂げる責任感を身に付けるよう指導しています。

【建築科の学習内容】
建築技術者の養成を目標とし、将来建築士になるための必要な知識・技術や人格形成に関する学習をします。立派に社会に貢献するためには、バランスの取れた知識や教養を必要とします。普通教科はもちろん、ホームルームや部活動、生徒会活動や学校行事に積極的に参加することも大切です。
工事現場ではたくさんの人が働いていますが、その仕事は設計図書に基づいていろいろな職種に分類されています。それぞれのどの部分の仕事についても、その中で責任を持ちながら共同体で建築物を完成させる建築技術者としての基本的な知識や技術を習得し、職業人としての人格形成を育む指導をします。

【1年生】
建築技術を学ぶための基礎的基本的な勉強をします。普通教科をはじめ、各種検定や資格取得に向けて学習し、専門科目では主に木構造の建築物の構造や部材の名称、パソコン操作や住宅模型づくり、製図法などについて学びます。

【2年生】
普通教科も専門教科も一段と進み、木構造からRC造まで進みます。建築技術者を目指すために、より専門的な内容に進み、さらに高度な学習が必要になります。製図、測量実習、木材加工実習、CAD実習などに実践的な実習を通して、より技術的な勉強をします。特に3学期では、住宅設計競技(コンペ)に参加します。

【3年生】
社会に貢献できる建築技術者を目指すためには、自主性や協調性、高い責任感や強い精神力が要求されます。普通教科や専門教科を通じて、造形デザインや色彩などの創造性、構造計算などの基礎的計算力、すぐに行動できる実践力や統率力、協調性や社会性を学びます。最後に卒業設計発表会で3年間の成果を発表します。